

## 令和2年度 加太小学校 行動計画

### ①主体的に取り組む学習態度を身につける。(学びとつながる)

取組	行動計画
(1) 一人ひとりが主体的に取り組む授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの実態に応じた支援 ※個々のめあての設定、可能性を引き出す声かけ、評価。学習指導案に反映。個人ファイルの引き継ぎと共通理解</li> <li>・子どもたちが見通しを持てる授業づくり(授業のパターン化、活動カードの提示) 【児童アンケート授業がわかる90%以上】</li> </ul>
(2) 複式学級における授業づくりの研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたり授業におけるの自主自学力の向上のための授業づくり</li> <li>・学習リーダー(GL)の育成【GLノートの利用】</li> <li>・合同授業における隔年のカリキュラムを充実する。【総合、生活、音楽、図工、家庭、体育のカリキュラム見直し】</li> </ul>
(3) 読解力と表現力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や活動の中で読解力や表現力の向上に努める。 【毎時間全員発表、活動の中で必ず発信の場を設定】</li> <li>・語彙を増やす取り組みに力を入れる。</li> <li>・「自ら伝え、自らかかわる加太っ子の育成 ～豊かな言葉の使いてをめざして～」を研究主題として研修を深める。10月21日に関中校区研究拠点校発表会を実施する。</li> <li>・年間目標読書量を設定するなど読書を推進する。 【低95冊以上、中80冊以上、高55冊以上が90%以上】</li> </ul>
(4) 学習規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の準備、聴き方、話し方、姿勢などの学習規律を確立させる。 (※学校で統一した指導内容を掲示)【チャイム席、学習準備100%】</li> </ul>
(5) 基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あさかぜ」(朝の学習)による朝の時間の活用 月：読書 金：事前学習(なわとび、ソーラン、合唱) 火・水・木：短時間学習(1・2年は復習)</li> <li>・チャレンジ(自主学習)の内容の充実</li> <li>・「はなまる」月・水に補充学習</li> </ul>
(6) 新学習指導要領全面実施に伴う研修の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを生かした授業づくりや英語の力を伸ばす研修を進める。</li> <li>・3観点(知識・技能、思考力・判断力・表現力等、主体的に学習に取り組む態度)に沿った評価について研修を深める。</li> </ul>

②相手を思いやり仲間とつながる力を身につける（仲間とつながる）

(1) 安心してすごせる学級づくり、学校づくり	・相手のよさに気づかせる場を設定する。（授業の中、帰りの会などで）
	・相手を思いやるSSTに取り組む。 【児童アンケート：学校は楽しい・肯定的回答100%】
	・心にとめる子を中心に学級の変容をみる。
	・感染症などの病気やけがの予防に努め、安全で安心な環境をつくる。
(2) 個に応じた支援	・一人ひとりの思いや悩みを把握し、一人ひとりの実態に応じた支援を行う。 【一人ひとりと学期一回以上の教育相談】
	・校内委員会による児童の実態把握と支援方法の検討
	・一人ひとりの安心感を支える保健室の役割
(3) 縦割り班活動の充実	・異学年集団活動により、高学年のリーダーシップを伸ばす。 【たてわり班そうじの実施・遠足・児童会行事で、たてわり班活動月1回】

③家庭と連携し、規則正しい生活習慣や学習習慣の定着をすすめる（家庭とつながる）

(1) 挨拶、整理整頓の習慣の定着	【保護者アンケート：挨拶、後片付け肯定的回答85%以上】
(2) 規則正しい生活習慣の定着	・家庭と学校が子どもの実態交流に努めるとともに、課題を共有し、生活リズムを改善させる。 ・早寝、早起き、テレビ視聴・ゲーム時間などのチェックシートの活用 【学校・家庭で話し合う場の設定、児童アンケート生活習慣の向上する児童70%以上】 ・ノーテレ（ノーテレビ・ノーゲーム）週間の実施【各学期に1回】
(3) 家庭との情報共有	・学校での子どもの様子を知らせるとともに、家庭での様子の把握に努める。 【学年通信等の発行：月2回以上 ホームページ：毎日更新 保護者アンケート：学校は保護者と密に連携を取り合っている90%以上】

(4) 家庭学習の定着と家庭読書の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の家庭学習の取り組み方を発信する。</li> <li>自主学習の内容を交流し、保護者にも発信する。</li> </ul> 【児童アンケート：毎日家で勉強している（宿題も含める）95%以上】
---------------------	--

**④地域と連携し、ふるさと学習の推進に努める。（地域とつながる）**

(1) ふるさと学習の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>1・2年 サツマイモ 3・4年 梅 5年 もち米 6年 自然薯【加太の自然、人、文化などの教材化】</li> <li>「つむぎ通信」による学校からの発信</li> </ul>
(2) 出会い学習への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>加太の人々の思いや生き方にふれさせる。</li> <li>各学年学期に1回、ゲストティーチャーから話を聞き、めあてをもって活動に取り組む（1・2年 加太のまち 3・4年 加太の自然や文化 5・6年 加太の産業と歴史）</li> </ul>
(3) 保育園や中学校との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>保幼小の連携を図る。【保育園との交流、学期2回以上】・関中の出前授業（年1回）</li> </ul>
(4) 他校との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>関小や滋賀県多羅尾小等との交流（実施については検討中）</li> </ul>
(4) 地域花いっぱい運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>春と秋に地域へ花プランターを置く。保護者にも配布。</li> </ul>

**⑤教職員が働きやすい職場環境づくりに努める。（教職員がつながる）**

(1) 相談や報告の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話を促進し、何でも相談できる職場環境づくりに努める。</li> </ul> 【教職員アンケート・・・相談しやすい雰囲気・相談できる同僚がいる肯定的回答90%以上】
(2) 時間外労働時間の縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>【時間外労働5%減、月2回定時退校設定、最終退校時刻の設定提案の明確な会議と事項書の事前配布により60分以内に終了】</li> </ul>
(3) 健康で明るい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の過重労働の把握及び適切な休暇取得の奨励に努めると共に、変形労働時間制及びズレ勤の完全実施など教職員の健康に留意する。</li> </ul> 【休暇15日以上取得退校時間の把握、ズレ勤完全実施の把握】
(4) 働きがいのある職場環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の学校経営への参画と協働を大切にする。</li> </ul> 【教職員アンケート・・・やりがいや働きがいがある・・・肯定的回答90%】

⑥加太小学校の未来を見据えた取組に努める。(未来とつながる)

<p>(1) 教職員と5年後、10年後の加太小の姿を共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・人事評価制度を活用し、定期的な面談や様々な場面における対話を行う。【面談の実施】</li></ul>
<p>(2) 地域や保護者と5年後、10年後の加太小の姿を共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・つむぎ学校運営協議会の協議内容に入れ、話し合いを重ねていく。</li><li>・加太地区まちづくり協議会や加太の未来を考える会などの加太地区内の団体と話し合いを継続する。</li><li>・保護者と語り合う機会をもつ。</li></ul>